

診断学

科目到達目標:臨床診断学において最低限必要となる症候、基本的診察手技および検査法を理解し、それぞれを各疾患の病態と関連づけて説明できる。

科目責任者(所属教室):磯本 一(機能病態内科学) 実務担当:岡野淳一(機能病態内科学)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	5/16(月)	3	323	女性生殖器系の症候学、検査	大石 徹郎	女性診療科群	婦人科腫瘍の症候と診断を理解する	性器出血、腹部腫瘍、細胞診、超音波断層法、CT、MRI
2	5/18(水)	3	323	乳房の症候学、検査	村田 陽子	胸部外科学	乳房の症候および画像検査を理解し、乳癌と病態と関連づけて説明できる	乳房痛、腫瘍、マンモグラフィー、超音波検査、CT、MRI、細胞診
3	5/23(月)	3	323	運動器系の症候学、検査	谷島 伸二	整形外科	運動器疾患(四肢関節、脊椎)の症候と病態の概要を理解する	整形外科疾患(関節、脊椎)の身体所見と画像所見
4	5/25(水)	3	323	神経系の診断学	古和 久典	脳神経内科学	神経疾患の病歴や症候を理解し、病態を説明できる	病歴、問診、経過、遺伝など
5	5/30(月)	3	323	呼吸器系の症候学 1	小谷 昌広	分子制御内科学	呼吸器疾患(悪性疾患)の症候を理解し、病態と関連付けて説明できる	血痰、胸痛、胸水、腫瘍随伴症候群、腫瘍マーカー、細胞診、組織診
6	6/6(月)	3	323	呼吸器系の症候学 2	山崎 章	第三内科診療科群	呼吸器疾患(良性疾患)の症候を理解し、病態と関連付けて説明できる	咳、喀痰、呼吸困難、チアノーゼ、呼吸音、喀痰検査
7	6/8(水)	3	323	循環器系の症候学 1	加藤 雅彦	病態情報内科学	循環器疾患において最低限必要となる症候を理解し、説明できる	胸痛、動悸、失神、呼吸困難、チアノーゼ、血圧異常、ショック
8	6/13(月)	3	323	眼・視覚系の症候学、検査	山崎 厚志	眼科	眼疾患の症候を理解するとともに眼科における検査を習得する	視力検査、視野検査、眼底検査、細隙灯顕微鏡検査、眼底検査
9	6/15(水)	3	323	消化器系の検査 1	孝田 雅彦	機能病態内科学	消化器疾患の血液生化学および各種画像検査を理解し、病態と関連づけて説明できる	腫瘍マーカー、肝機能検査、内視鏡検査、超音波検査、CT、MRI
10	6/20(月)	3	323	代謝系の症候学、検査	檜崎 晃史	第一内科診療科群(非常勤講師)	代謝疾患(糖尿病、脂質異常、高尿酸血症)の症候、検査の意義を理解し、病態を説明できる	肥満、やせ、多尿、糖尿病の管理指標、合併症のマーカー
11	6/22(水)	3	323	消化器系(消化管)の症候学	磯本 一	機能病態内科学	消化器疾患(消化管)の症候を理解し、病態と関連づけて説明できる	嘔気・嘔吐、吐血、嚥下困難、胸やけ、食思不振、腹痛、下痢、便秘、下血、鼓腸
12	6/27(月)	3	323	消化器系の検査 2	孝田 雅彦	機能病態内科学	消化器疾患の血液生化学および各種画像検査を理解し、病態と関連づけて説明できる	腫瘍マーカー、肝機能検査、内視鏡検査、超音波検査、CT、MRI
13	6/29(水)	3	323	消化器系(肝胆膵)の症候学	法正 恵子	機能病態内科学	消化器疾患(肝臓、胆嚢、膵臓)の症候を理解し、病態と関連づけて説明できる	腹水、黄疸、肝性脳症
14	7/5(火)	3	323	循環器系の検査	三明 淳一郎	病態情報内科	循環器疾患に対する検査を理解し、病態と関連づけて説明できる	胸部レントゲン、心電図、心臓超音波検査、心臓カテーテル検査、核医学検査、生化学検査
15	7/6(水)	3	323	内分泌・代謝系の症候学	伊澤 正一郎	第一内科診療科群	内分泌疾患(下垂体、甲状腺、副甲状腺、副腎)の症候を理解し病態を説明できる	肥満、やせ、動悸、高血圧、意識障害、頸部腫瘍、低身長、多尿、脱毛、月経異常、電解質異常
16	7/6(水)	4	323	神経系の症候学1	中野 俊也	医学教育学	神経疾患の症候を理解し、病態を説明できる	神経機能解剖学

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
17	7/7(木)	1	323	呼吸器系の検査	井岸 正	分子制御内科学	呼吸器疾患に対する検査を説明できる	気管支鏡検査、呼吸機能検査、ガス分析
18	7/7(木)	3	121	耳鼻咽喉口腔系の症候学 1	河本 勝之	頭頸部診療科群	頭頸部部腫瘍の症候を理解し、病態と関連づけて説明できる	嚥下困難、呼吸困難、嚔声、反回神経麻痺、多発性脳神経麻痺、頸部腫瘍
19	7/8(金)	1	323	血液・造血器・リンパ系の検査	本倉 徹	臨床検査医学	血液疾患の診断に必要なCBC、生化学、画像、分子生物学的検査を理解し、説明できる	PET、骨髄像、FISH、染色体、PCR
20	7/12(火)	3	323	皮膚の検査	山田 七子	皮膚科	皮膚科検査法	MED、パッチテスト、直接検鏡、硝子圧法、皮膚描記症、Nikolsky現象、Kobner現象、アウスピッツ現象
21	7/13(水)	3	323	内分泌・代謝系の検査	伊澤 正一郎	第一内科診療科群	内分泌疾患(下垂体、甲状腺、副甲状腺、副腎)の検査・画像診断を理解し説明できる	内分泌機能検査、超音波、CT、MRI、核医学検査
22	7/13(水)	4	323	神経系の症候学2	中野 俊也	医学教育学	神経疾患の症候を理解し、病態を説明できる	高次脳機能、認知機能、意識、言語、失行、失認など
23	7/14(木)	3	121	循環器系の症候学 2	吉田 泰之	第一内科診療科群(非常勤講師)	観察項目を循環器疾患の各病態と関連づけて理解し、説明できる	視診、打診、触診、聴診(心音と心雑音)、血圧測定
24	7/15(金)	1	323	血液・造血器・リンパ系の症候学	本倉 徹	臨床検査医学	血液疾患の症候を病態より理解し、説明できる	貧血、易感染性、出血傾向
25	7/20(水)	3	323	神経系の検査	古和 久典	脳神経内科学	神経疾患の諸検査を理解し、病態と関連付けて説明ができる	髄液検査、画像検査、神経生理学検査など
26	7/20(水)	4	323	男性生殖器系の症候学、検査	武中 篤	腎泌尿器学	尿路・生殖器疾患の症候および画像検査を理解し、病態と関連づけて説明できる	血尿、腰背部痛、直腸診、超音波検査、静脈性尿路造影、尿道造影
27	7/21(木)	1	323	精神症候学	岩田 正明	精神科	精神症状、状態像を理解し、それらをもとに鑑別診断を上げることができる	意識、記憶、知能、知覚、思考、感情、意欲、状態像
28	7/21(木)	3	121	皮膚の症候学	山元 修	皮膚病態学	発疹学	原発疹、続発疹、皮膚病理
29	7/22(金)	1	323	腎・泌尿器系の症候学、検査	宗村 千潮	第二内科診療科群	腎疾患の症候、血液生化学および画像検査を理解し、病態と関連づけて説明できる	タンパク尿、血尿、腎機能検査、超音波検査、レノグラム、腎生検
30	7/22(金)	2	323	耳鼻咽喉口腔系の症候学 2、検査	藤原 和典	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	代表的な耳鼻咽喉口腔領域の疾患の症候を理解し、病態と関連づけて説明できる	鼻閉、鼻漏、嗅覚障害、味覚障害、難聴、耳漏、耳痛、めまい、病巣感染症

教育グランドデザインとの関連: 2、3、4、6

学位授与の方針との関連: 1、2

評価: 定期試験～90%、出席～10%

(各担当教室により若干差異はあるが、原則的に上記に準じて出席および筆記試験等により総合的に判定する。)